

第5回 「家事分担について」

1 調査目的

みんなで家事を分担する「とも家事」の定着促進事業の展開にあたり、家事分担の現状や家事負担に関する意識等を把握し、今後の施策検討に活用します。  
※とも家事の概要については、以下のページをご覧ください。  
<https://www.tochigi-woman-navi.jp/tochigi-tomokaji/>

(担当課:生活文化スポーツ部 人権男女共同参画課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

71,826 名 (LINEアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和7(2025)年12月19日～12月22日

(3) 調査方法

栃木県公式LINEのアンケート機能を活用して実施

3 回答者属性

回答数 1,585 名 (回答率2.2%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	418	26.4 %
女性	1158	73.1 %
未回答	9	0.6 %
計	1585	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	4	0.3 %
20代	92	5.8 %
30代	373	23.5 %
40代	391	24.7 %
50代	325	20.5 %
60代	250	15.8 %
70代以上	150	9.5 %
計	1585	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	776	49.0 %
県南	488	30.8 %
県北	304	19.2 %
県外	17	1.1 %
計	1585	100.0 %

(注)

- (1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。
- (3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

#### 4 調査結果

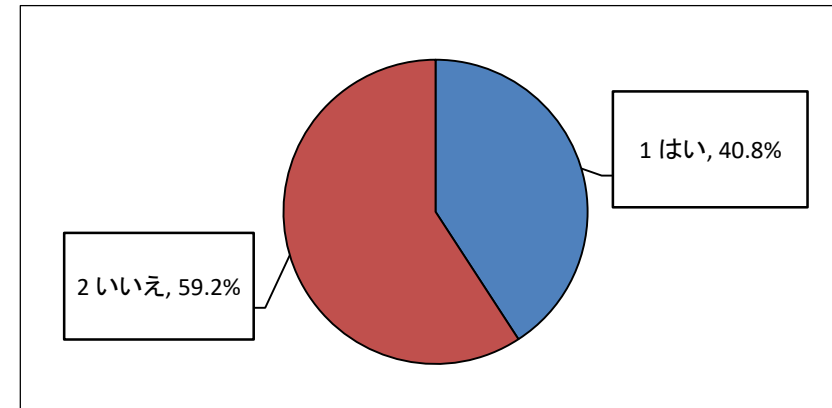
問1 あなたは、「とも家事」(※)という言葉を知ったことがありますか。(1つ回答)

※令和5年度より、栃木県では家事分担や家事時間削減を目的とした「とも家事」を推進しています。

「とも家事」とは、みんなで家事をシェアすること(「みんな」には、パートナーや家族だけでなく、時短食材、便利家電、家事代行サービス等の活用も含みます)としています。

	構成比	回答数
1 はい	40.8%	647
2 いいえ	59.2%	938

( n = 1585 )

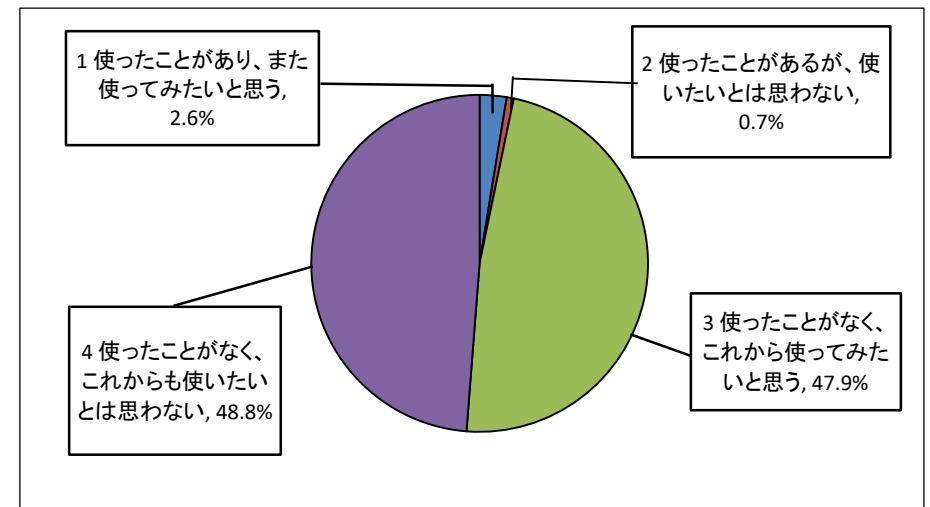


問2 あなたは、「家事代行サービス」を使いたいと思いますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 使ったことがあり、また使ってみたいと思う	2.6%	41
2 使ったことがあるが、使いたいとは思わない	0.7%	11
3 使ったことがなく、これから使ってみたいと思う	47.9%	760
4 使ったことがなく、これからも使いたいとは思わない	48.8%	773

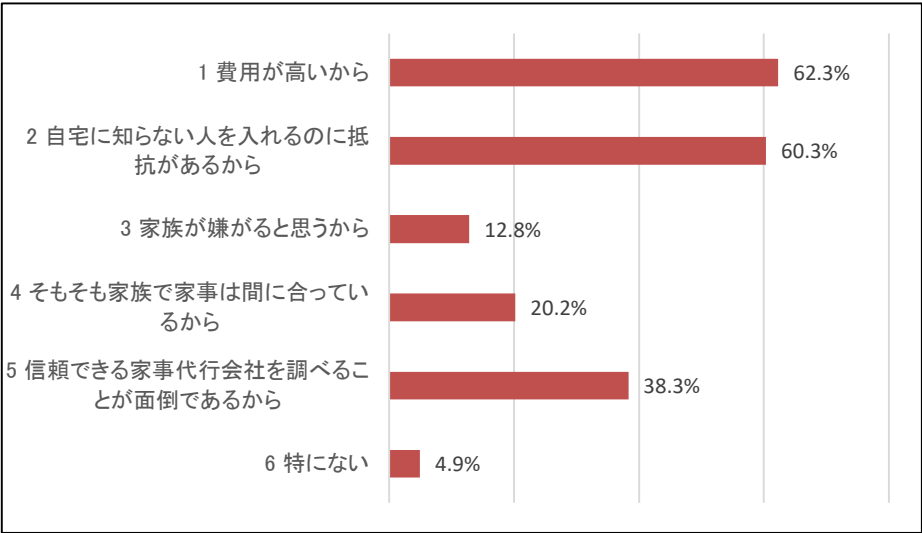
( n = 1585 )



問3 あなたが「家事代行サービス」を使いにくいと思う理由があれば、下記からお選び下さい。  
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 費用が高いから	62.3%	987
2 自宅に知らない人を入れるのに抵抗があるから	60.3%	956
3 家族が嫌がると思うから	12.8%	203
4 そもそも家族で家事は間に合っているから	20.2%	320
5 信頼できる家事代行会社を調べるのが面倒であるから	38.3%	607
6 特にない	4.9%	78

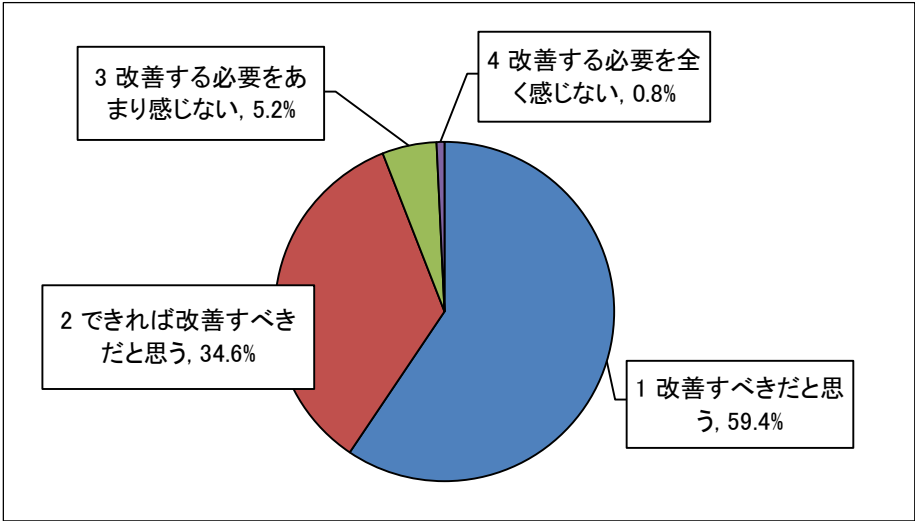
( n = 1585 )



問4 一般的に「家事労働は女性に偏る傾向がある」と言われていることについて、あなたはどのように考えますか。(1つ回答)  
※令和4年版の「内閣府 男女共同参画白書」においては、共働き世帯でも、夫の家事・育児関連時間は極端に短いとの報告があります。  
(詳しくはこちらへ→<http://www.tochigi-woman-navi.jp/kajidan/>)

	構成比	回答数
1 改善すべきだと思う	59.4%	942
2 できれば改善すべきだと思う	34.6%	549
3 改善する必要をあまり感じない	5.2%	82
4 改善する必要を全く感じない	0.8%	12

( n = 1585 )



問5 一般的に「家事労働は女性に偏る傾向がある」と言われています。これを解決しようとする場合、あなたはどんなことが有効だと思いますか  
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 男性の高所得化	16.7%	264
2 女性の高所得化	31.4%	498
3 男性の職場環境(労働時間や上司・同僚の理解など)の改善	65.7%	1042
4 女性の職場環境(労働時間や上司・同僚の理解など)の改善	36.2%	573
5 男性の意識向上を促す社会運動	66.7%	1057
6 女性から男性へ意識向上を促すこと	14.6%	232
7 利用しやすい家事代行サービスの普及	29.5%	467
8 特にない	2.6%	42

( n = 1585 )

